

諸法実相抄 しよほうじつそうしよ

御書全集  
編年体御書

1361<sup>六</sup>行目〜13行目  
550<sup>六</sup>行目〜13行目

行学ぎようがくの二道にどうをはげみ候そうろうべし、

行学ぎようがくたへなば仏法ぶつぽうはあるべか

らず、我われもいたし人ひとをも教化きようけ

候そうらへ、行学ぎようがくは信心しんじんよりをこるべ

く候そうろう、力ちからあらば一文一句いちもんいつくなりと

もかたらせ給たもうべし

通解

行学ぎようがくの二道にどうを励はげんでいきな

さい。行学ぎようがくが絶たえてしまえば

仏法はない。自分じぶんも行おこない、人ひと

をも教おしえ導みちびいていきなさい。

行学ぎようがくは信心しんじんから起おこる。力ちから

があるならば一文一句いちもんいつくであつ

ても人ひとに語かたつていきなさい。